

① 学習指導案

プログラム	No. 8「わたしたちのまちに言葉のおくりもの」
単元名 (全20時間)	落合大好きっ子写真展
学習のねらい	落合の見慣れた景色の中に様々な表情があることに気付かせるとともに、まちづくりの取組が景観をつくっていることがわかる。
学習内容	1 落合地域の知っている魅力を伝え合う 2 落合地域の探検(素敵な景色見つけ 自慢見つけ) 3 ワークシートにまとめる(写真に言葉を添える) 4 落合大好きっ子写真展
参考資料 準備品 実施場所等	・落合地区の景観写真 ・クロームブック、デジタルカメラ、プリンター等 ・落合地域各所を撮影 ・展示場所;中山道落合宿本陣 JR中津川駅ギャラリー

学習の流れ

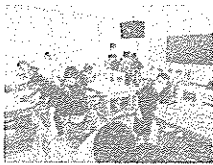


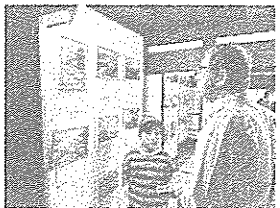
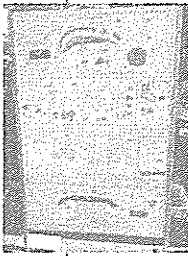
時間	学習活動	教師の指導	評価
1	落合地区で知っている素敵な景色を交流する。 *落合地区を撮影している地域の方から撮影の仕方について講習を受ける。	落合地区で撮った写真を提示して児童が関心をもてるようにする。 景観のおもしろさやよさを以下のように類別し、価値付ける。 自然物による景観 (山並み・川や自然現象によってつくられた景観)	活動への意欲 課題追究力
1	地域の写真撮影をするコースをつくる。	現代的な人工物による景観 (ダム・道路・橋・標識・案内看板の色づかいや形)	
2	写真撮影をする。	歴史的な遺物による景観 (本陣・寺・石塔・石仏などの歴史的な事物)	自然・歴史・人の営みが地域の景観をつくっていることに気付くことができる。
8	他グループの写真の場所を見付けに行く。	地域の活動によりつくられた景観 (桜並木・果樹園・水田・畑・用水路など日常的な活動によって手入れされたもの)	コミュニケーション力・表現力
2	撮影した写真の中から自分のお気に入りの写真を選択する。	その他複合的につくられた景観 撮影した写真に落合のよさを伝えるコメントをつけるようにする。	
2	撮影した写真をもとに落合の魅力の説明する。	展示会に使用する写真の準備	
4	落合大好きっ子写真展を開く。	展示場所使用依頼(落合宿本陣)	

<留意点>

普段、気にかけないところに目を向けさせ、新たな視点で落合の地域のよさを見付けられるようにする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 中津川市立落合小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	学校	令和5年 9月 12.13日	落合地区の写真を撮影し 続けている地域の方から撮 影方法の講習を受けた。 	講師からのお話や実際 に撮影された写真は大変 参考になり、それをもとに して撮影計画を具体的に 立てることができた。
14	落 合 地 区 内	令和5年 10月28日 等	中山道石畳などを菰汲舎 の会(しきゅうしゃのかい)の 方と探索。地域の歴史遺産 の由来を知ると共に、魅力あ る景観を探索した。  	ボランティアの方から丁 寧な説明や助言をいただ いたことで、由来などの 理解が深まるとともに 、全員が自分の願いに あつた写真を撮影す ることができた。
4	落 合 宿 本 陣	令和5年 11月8日	落合宿本陣施設内で「世 界に一つの落合大好きつ 子写真展」を開催した。  	地域や観光の来訪者が 大変多く、自分が撮影した 写真の景観に ついて、想い を込めて説明 することがで きた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- 3年生の総合的な学習の時間において、校区内の中山道を探索、落合宿本陣見学を実施した。4年生になって、落合川に入ってカワゲラウォッチングを実施するなど、様々な落合の景観に触れる機会を設けた。こうした学習経験を振り返らせる中で、まちの景色の良いところに着目させた。
- 地域ボランティアを講師として招いたり、児童の意見を交流したりすることで、紹介したい景観を探索する意欲を高めて撮影コースを設定した。
- 写真展の広報活動も学習に位置付け、保護者、地域住民、新聞社に周知した。
- 写真展の会場を落合宿本陣の建物の中で行うことで、落合宿本陣の集客につなげられるとともに、地元住民が本陣利用を促すようにした。

(2) 実施にあたり苦労した点

- コロナ感染予防対策を講しながらも、昨年度と同様に、子どもたちが観光客などの来場者と直接的に関わりながら、児童が写真展会場に当番でガイドを務め、来場者と接することができた。休日に行う点で、保護者協力を求める必要があった。

○年間を通して写真撮影を行うと、季節の花々や芽吹きなどの木々の色に着目して景観を見直すことができるのだが、撮影時期が、秋にかけて行うため、春夏の景色のよいところが選びにくいことが、課題に残った。

○写真とコメントを合わせて伝える経験が乏しいため、写真展の取り組みは必要であると感じた。

### (3) 児童の反応

○まさに地域の魅力を再発見しているようだった。普段通っている道でも、「魅力を探す」「写真を撮影する」という意識で通ると、新たな発見があるようだった。

○タブレットを使って写真を撮影して、撮影ポイントを検討する子や仲間と交流する子、何度もコメントを書き直す姿が見られた。

○写真展でのガイド役を分担したのだが、終日会場で過ごす児童や来場者に写真だけでなく、落合宿本障の施設についてボランティアガイドをまねて説明する子が現れた。また、今年度も来場者にプレゼントの折り紙などを自主的に用意する子もでてきた。写真展を成功させたいと自ら活動を工夫することができた。さらに、自分の写真だけでなく、他の子の撮影した写真の良さを解説することができた。

○景観に対する意識ができたことで、授業以外の時間にも地域の景観、自然に目を向ける児童が増えた。

### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

○担当の教員も改めて、校区の魅力を新たに知ったり、再発見したりすることができた。

○校区には、中山道や落合ダムといった景観的にも特色のあるところがあり、それらを詳しく知る機会となるだけでなく、田んぼなど人との関わりで景観が作られていることを学んだ。

○子どもたちが歴史的な景観、自然が作った景観、人々が創り出した景観に気づき、その由来などを考えたり、調査したりすることで「落合」を身近な存在として感じ始めたことに指導の手ごたえを感じられた。また写真展を行うことで、子どもたちに地域貢献を体験させることができた。学んだことを横断的につなげて学習する方策を学ぶことができた。合わせて子どもの感性や能力の高さに驚かされた。

### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

○3年時の総合的な学習の時間において「落合の昔のもの」を探求するテーマとして「ものを探る」学び方を身に付けさせることが必要である。

○4年時の総合的な学習の時間において「落合の環境と町並み」を探求するテーマとして「仕組みを探る」学び方を身に付けさせることが必要である。

○今回、「景観交流」「撮影探検」「写真の選択」「コメント作り」「広報を考える」「写真展」「振り返り」の一連の学習を積み重ねて行うことが必要であることがわかった。これにより、児童の課題づくりの力、情報の取捨選択する力、適切なコメント力などを高められることを、次年度担当する教職員につなげたい。

○児童がグーグルアンケートを用いて、英語などの外国語バージョンも作ることができた。教師の意図を超えて学習する児童が出てきた。こうした児童を価値づけながらICTソフトの利活用を教師も学ばなければならない。